

概 観

事業の概要

超精密機械加工技術、垂直統合生産システム、大量生産技術をコアコンピタンスとする当社グループの事業は、ミニチュア・小径ボールベアリング(以下、ボールベアリング)を主な製品とする機械加工品セグメント(当期売上高比率42%)と、HDD用スピンドルモーターやファンモーター等の精密小型モーター、及びキーボードを主要製品とする電子機器セグメント(同58%)により構成されています。

製品開発は、日本を中心に、タイ、ドイツ、米国で行い、生産はタイ、中国を中心に日本、シンガポール、米国、英国で行っています。当社グループの最大の生産拠点であるタイが連結生産高に占める比率は58%であり、日本を除くアジア全体では81%です。

主な市場は、PC及び周辺機器(当期売上高比率44%)、情報通信機器(同11%)、家電(同10%)、航空宇宙(同9%)などです。従って、当社の販売先の顧客は日米欧のほか、中国等アジアで生産を展開する企業が多く、当社の地域別売上高は日本を除くアジアが最も多く連結売上高に占める比率は45%、次いで日本が多く26%、ほかは米国と欧州となっています。

(詳しくは55ページ以降をご参照下さい)

戦略の概要

当社グループでは、コアコンピタンスである超精密機械加工技術、垂直統合生産システム、大量生産技術との適合性を高めた製品群の構築を推し進め、ボールベアリング、精密小型モーターなどに経営資源を集中させて事業展開をしています。また、製品開発力についても新たなコアコンピタンスとすべく圧倒的な競争優位性の確立を目指しています。

そして、コアコンピタンス戦略を高めるため、事業のさらなる峻別、新たな組織運営、実行力の向上、明確な評価尺度の導入などにより、事業の拡大をはかっています。

当社の経営の戦略課題は以下にまとめられます。

1. ベアリングとベアリング関連製品事業の一層の強化・拡大をはかる。
2. 精密小型モーター事業をさらに拡充し、ベアリング関連製品と並ぶ柱に育てる。
3. 全ての製品について高付加価値製品の比率を引き上げると同時に、製品の幅を広げより広範囲な市場に対応出来るようにする。